

# STANDARD

## 携帯型デジタルトランシーバー VXD1S 取扱説明書

82+15 チャンネル / 1W

陸上波 82チャンネル  
上空波 15チャンネル  
無線局種別コード：3R/3T/3S/3U（登録局）

### 防水構造

前塵防浸構造 IP67

完全防水ではありませんので、水中での使用はできません

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。  
このトランシーバーは国内専用モデルです。  
海外では使用できません。

開発製造：株式会社CSR

URL：http://standard-radio.jp



©2024 株式会社CSR  
社無断転載・複写を禁ず  
Printed in Malaysia

### 構成

|                     |   |                            |   |                        |    |
|---------------------|---|----------------------------|---|------------------------|----|
| 本体 (VXD1S)          | 1 | 安全上のご注意 / ベルトクリップ (CLP-25) | 1 | 電池パックの充電方法 (補正文)       | 1  |
| リチウムイオン電池パック (BT7X) | 1 | 簡易操作ガイド                    | 1 | 充電用ACアダプター (PS00042A1) | 1  |
| 保証書                 | 1 | ご注意 (登録申請 / 電波利用料)         | 1 | 保証書                    | 1  |
| 取扱説明書 (本書)          | 1 | 無線局登録申請の手引き                | 1 | 無線局登録申請書               | 一式 |

## デジタル簡易無線登録局について

本機は全国の陸上及び日本周辺海域で使用できる82チャンネル(本文中「陸上波」と表記)と、陸上と周辺海域に加え高所やスカイスポーツ等の上空でも使用することができる15チャンネル(本文中「上空波」と表記)両方に対応しています。初期値は陸上波が送信可能に設定されています。上空波を使用する場合は、表面記載の「上空波の送信切り替え設定 (F01.TXCH)」を参照し、切り替えて運用してください。

| 使用範囲                   | ARIB 種別コード | 周波数     | チャンネル数 |
|------------------------|------------|---------|--------|
| 全国の陸上及び日本周辺海域          | 3R 3T      | 35 MHz帯 | 82     |
| 全国の陸上及び日本周辺海域並びにそれらの上空 | 3S 3U      |         | 15     |

### 上空波チャンネルの運用について

上空で利用する場合には、S-01 ~ S-15 の通話チャンネルを使用してください。上空でCH1 ~ CH82の通話チャンネルを使用すると電波法違反になります。近傍にヘリコプターや気球などの飛行をしている場合には、上空波を用いている場合があります。S-01 ~ S-15 の15チャンネルは上空利用ができる貴重なチャンネルですので、通常の陸上局間のみでの通信には上空波の使用を避け、陸上波を使用するようご協力をお願いします。

### コールチャンネルについて (陸上波専用)

“CH15.CALL”は、呼び出し専用のチャンネルです。ユーザーコード (UC) は自動的に“000”に設定され、秘話通信は自動的に解除されます。

**注意** コールチャンネルは一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行うようにしてください。

**補足** コールチャンネルでは [MODE] キーが無効になります。ユーザーコードや秘話通信の設定はできません。

## 通信時に動作する機能に関して

### キャリアセンス機能

基準値以上の強さの電波を受信している場合は、混信を防止するために、送信を禁止する機能です。送信禁止時はディスプレイに“WAIT”が表示され、「ヒポット」と警告音を発し送信することができません。受信を示すLEDインジケータが消えてから再度送信を開始してください。

**補足** “WAIT”表示の状態ではPTT (通話) スイッチを押し続けると、受信電波がなくなり次第、“WAIT”表示がチャンネル表示に切り替わり自動的に送信状態になります。

本機は、デジタル簡易トランシーバー登録局としてキャリアセンス機能を搭載しており、電波法および ARB 規格により、送信ごとにキャリアセンス機能が動作します。

### 通話中の「ビビビ」音

本機の連続送信時間は“5分”で、約4分50秒で予告音「ビビビ」が鳴ります。送信中に「ビビビ」という電子音が鳴った場合、速やかに通話を終了してください。送信を継続すると約10秒後に自動的に送信が止まり、通話が中断されます。なお、自動的に送信が中断された場合、その後の1分間は送信することができません。

## キー操作早見表

| キー/スイッチ/ツマミ    | まわす              | 動作   |
|----------------|------------------|--|
| 電源スイッチ (音量ツマミ) | 電源 ON/OFF (音量調節) | —  |
| MODE           | —                | キーロック<br>通信設定  |
| ▲              | —                | 早送り (チャンネルアップ)<br>設定モード時<br>設定項目後進<br>設定モード時<br>設定項目前退             |
| ▼              | —                | 早送り (チャンネルダウン)<br>設定モード時<br>設定項目前退<br>設定モード時<br>設定項目後進             |
| PTT            | —                | 送信<br>送信   |
| プログラマブル        | —                | スキャンチャンネル登録 (初期値) / 緊急モード<br>スキャン (初期値)<br>ファンタジミ<br>ディスプレイ<br>ライト |
| MODE+電源スイッチ    | 設定モード            | —  |

## 登録申請 / アフターサービスについて

本機をご使用になるには、電波法で定められている「無線局登録申請」を行い、登録状の交付を受けることが必要です。本機をご使用になる前に、別紙「無線局登録申請の手引き」を参考にして、必ず登録申請を行い、登録状の交付を受けてください。

### 注意

登録状の交付を受けずに本機を運用し、電波を出した場合、電波法第9章110条に定められた罰則 (一年以下の懲役又は百万円以下の罰金) が適用されますので、必ず無線局登録申請を行い、登録状の交付を受けた後に運用を行ってください。

### ご利用にあたって

- 適合証明を取得し、他社のデジタル簡易トランシーバー(種別コード「3R, 3T, 3S及び3U)との互換性を確保していますが、デジタル簡易無線規格において製造者定義となっている一部機能については (例：個別呼び出しなど)、互換性ありません。
- 本体背面に貼り付けてある「証明ラベル」を剥がしたり、「分解」や「改造」を行うことは、法律で禁止されています (総務省令、特定無線設備の技術基準適合証明に関する規則)。
- 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります (電波法第59条、電波法第109条)。
- 本説明書には、ご購入時の状態 (初期値) の標準的な設定での説明が記載されています。

### 免責事項

- 取扱説明書に記載の使用法とは異なる使用法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。

### アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。

### 登録商標について

本製品は、公式ライセンスである株式会社CSRにより製造、配布または販売されています。Vertex Standard, Standard, およびロゴ化されたVSOゴとSRロゴは、Vertex Standard Trademark Holdings, LLCの商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。©2024 CSR, Inc. All rights reserved.

## 準備

### 電池パックを入れる / 取り出す

- ロックレバーを右側にスライドし、フタを開きます (①)。
- 電池パックの黒い面を上にして電極側から差し込みます (②)。
- フタのツマミがある部分から差し込みます (③)。
- ロックレバーを赤印が見えなくなるまで左側にスライド (←LOCK) の刻印方向) し、フタを確実にロックします (④)。

### 注意

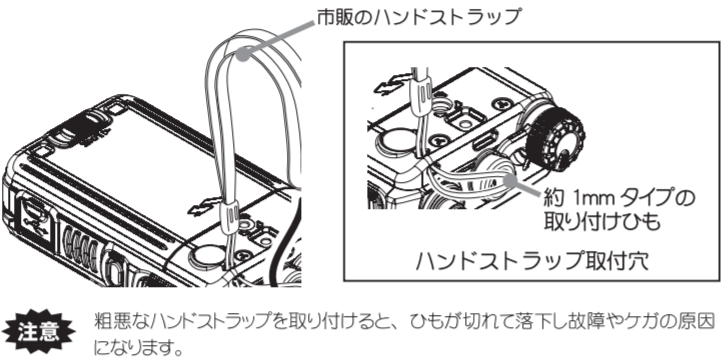
- フタを確実にロックしないとIP67の防水性能は維持されず故障の原因になります。
- 電池パックのシールを剥がさないでください。シールを剥がすと電池パックが分解され、セルや電極がむき出しになりショートする原因になります。また、漏液・発熱・破裂・発火などの原因にもなります。

### ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップ上面の凸部分とトランシーバー上面の凹部分に合わせて、ベルトクリップに装着されているビスで確実に取り付けます。

### ハンドストラップの取り付け

先端の取り付けも約1mmタイプの丈夫なストラップを取り付けてください。



### 注意

粗悪なハンドストラップを取り付けると、ひもが切れて落下し故障やケガの原因になります。

## 電池パックについて

電池パック (BT7X) は、使い切らずに概定し充電可能なリチウムイオン電池パックです。運用する時は満充電にしてからご使用ください。なお、満充電の状態を再度充電すると過充電となり電池の寿命を短くする原因になりますのでご注意ください。

### 電池パックの使用条件

- 周囲温度が-10℃ ~ +60℃の範囲内で使用してください。低温になるほど電圧が低下し使用時間が短くなります。

### 電池パックの保存方法

- 周囲温度が-20℃ ~ +35℃の、腐食性ガスのない湿度の低い乾燥した場所で保存してください。
- 高温の場所で保存すると、劣化の進行を早めることがあります。なるべく低温状態で保管してください。
- 長期間放置 / 保管するときは、次のことを守ってください。
  - トランシーバーから電池パックを外す。
  - 満充電または完全に切った状態にしない。
  - 満充電にした状態からディスプレイ (④) (電池残量が約50%) が表示されるまで使用してから保管する。
  - 長期間放置 / 保管後は電池容量が低下していることがあるので、必ず充電してから使用する。
  - 過放電を防止するために、半年に一回、補充充電 (60%程度) をする。

### 電池パックの特性について

- 過充電 / 過放電などの無理な条件が重なると寿命が短くなります。
- 電池パックは消耗品です。充電電圧を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。
- 満充電にしても持続時間が短くなったときは電池パックの寿命ですので、早めに新しい電池パックをお買い求めください。

### 電池パックのお手入れ

- 側面の端子を定期的にご清掃等で拭いてください。
- 電池パックが汚れた場合には、シンナーやベンジンなどを使わず、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

### 使用済みの取り扱い

- 電極端子をゼロハンテープやビニールテープ等で絶縁してください。
- 電池パックを分解しないでください。
- 電池パックはリサイクルできますので、廃棄せずに、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力業者にご相談ください。

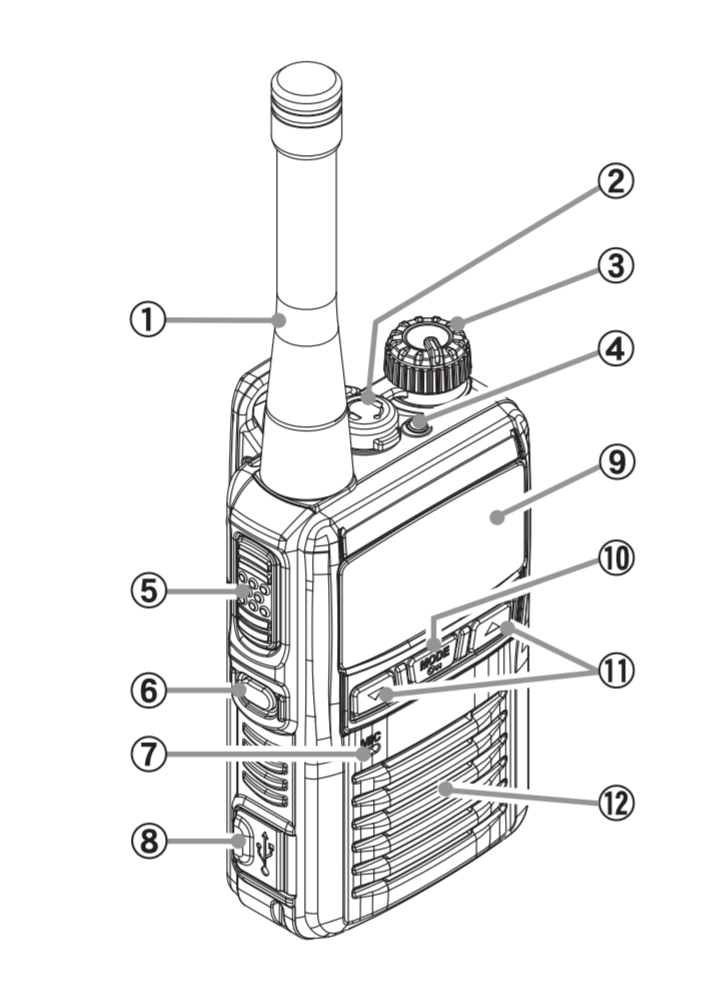
### 電池パックの持続時間を延ばすには

VXD1Sは小型軽量ながら一回の満充電で約10時間の運用を行うことができます。またVXD1Sは、持続時間をさらに延ばすことができるスーパーセーブ機能 (設定モード：F10.SSAVE 参照) の搭載により、持続時間を約3時間延長することができます。また送信出力を三段階に切り替えることができますので、1W運用から0.5Wまたは0.2Wのローパワーに切り替えて (設定モード：F05.TXPWR 参照) 運用することで、さらに持続時間をアップすることができます。

| 電池パック BT7X の持続時間 | ※電池持続時間は常温 / 常温：「送信出力 1W 時、送信 5：待ち受け 90」の測定 |
|------------------|---|
| スーパーセーブ機能 “OFF”  | 約 10 時間                                     |
| スーパーセーブ機能 “ON”   | 約 13 時間                                     |

**注意** 極度に高温または低温の場所は持続時間が短くなります。

## 各部の名前と機能



- アンテナ**  
上空波送信対応のため、法令により外せません。
- MIC / SP 端子**  
MIC / SP 端子キャップを外して、スピーカーマイクなどのオプションを接続します。
- 電源スイッチ / 音量調節ツマミ**  
電源の ON/OFF と音量の調節をします。
- LED インジケータ**  
動作状態を視覚的にわかりやすく確認できる三色色の LED で動作状態を表示します。

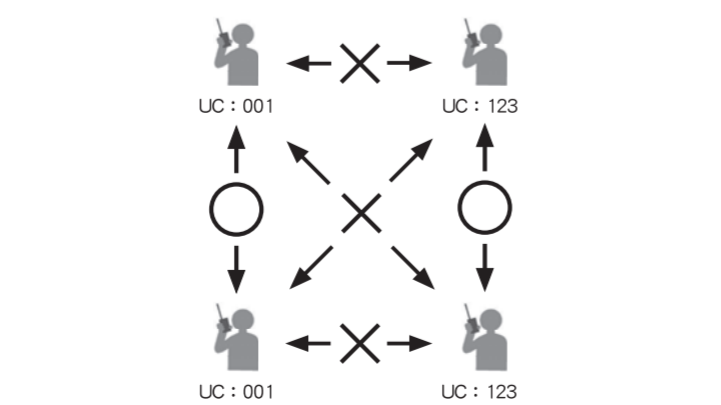
- PTT (通話) スイッチ**  
押し続けている間、トランシーバーは送信状態になります。放すと待ち受け / 受信状態になります。  
**補足** 設定モード “F08.PTHLD” で、ホルド機能付き PTT (通話) スイッチに変更することができます。

## UC (ユーザーコード) 通信機能 (応用編)

### UC (ユーザーコード) 通信とは

同じチャンネルで、同じユーザーコードを設定しているユーザー同士が通話できる方式 (UC 通信方式) です。

ユーザーコードは初期値の状態でも共通ユーザーコード “000” に設定されています。この状態でも他局がユーザーコードを変更していてもすべて受信できます。ユーザーコードを “000” 以外に変更することで、ユーザーコードが一致する局のみと交信することができます。



- ユーザーコードは、3桁の数字で構成されていて、“000” ~ “511” の間で決めることができます。
- ユーザーコード “000” は、共通ユーザーコードとして扱われ、受信時はコードが異なる番号も受信できますが、送信時は “000” を設定している相手しか通話することができません。
- UC 通信方式は、ARB 規格で規定されており、種別コード 3R, 3T, 3S 及び 3U の他社製デジタル簡易無線トランシーバーと通話互換がなされます。

## 三和システムサービス株式会社

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-477 福島ビル3F  
TEL 048-653-2211 FAX 048-653-2217

## 電池パックの充電方法

充電の仕方は、3種類の充電方法があります。下表は電池パックを十分に使い切った状態での充電時間になります。

| 充電方法   | 充電時間    |
|--|---------|
| トランシーバーに付属の AC アダプターを接続して充電する。                 | 約 160 分 |
| オプションの急速充電器「電池パックトランシーバー」に入れて充電する。CD-66 で充電する。 | 約 180 分 |

※：別紙の「安全上のご注意 / 電池パックの充電方法 (補正文)」：オプションの急速充電器 CD-66 で充電する」を参照してください。

**補足** 電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

### お使いになるときのご注意

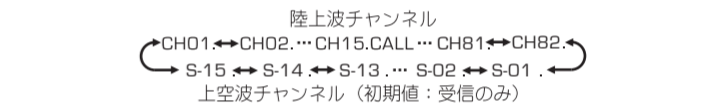
- 充電をするときは、トランシーバーの電源を切ってください。電源を入れたままの状態を充電をせず、スピーカーから AC アダプター等のノイズが聞かれます。市販の USB ケーブルはスマートフォン用のマイクロ USB ケーブルを使用してください。粗悪なケーブルを使用すると充電できないことがあります。
- 当社指定の充電機器以外 (市販の USB ケーブル等) のものでも使用できますが、それが原因の不具合等については保証対象外になります。トラブルが原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社は一切責任を負いません。
- 規定の充電時間以上経っても充電できない場合は、すぐに充電を終了してください。電池パックの寿命です。新しい電池パックに交換してください。
- 充電中に充電器やトランシーバー、AC アダプターが発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 充電中にテレビやラジオにノイズが入ることがあります。できるだけ離してください。

### トランシーバーに AC アダプターを接続して充電する (充電時間: 約 160 分)

- トランシーバーの電源をオフにし、側面に接続する USB 端子のキャップを開けて、付属の AC アダプターのコネクタを差し込みます。
- AC アダプターの電源プラグを容易にアクセスできる AC コンセントに差し込みます。  
確実に差し込まれると、トランシーバーの LED インジケータが赤色に点灯し充電を開始、充電が完了すると消灯します。  
**補足** エアモードで充電すると充電できないことがあります。  
※：電池パックを入れ直してください。解決しない場合は、電池パックの寿命です。
- 充電が完了したらトランシーバーから AC アダプターを外して、USB 端子のキャップを閉めます。

## 通話のしかた (基礎編)

- 電源を入れます。  
電源スイッチを右にまわすと、電源が入ります。  
**補足** ディスプレイに起動画面が約1秒間表示され「ヒポット」と電子音が鳴り、ディスプレイに現在のチャンネルが表示されます。
- 音声を調節します。  
音量調節ツマミを 10 ~ 11 時の位置にあわせておき、その後は相手の音声が最適な音量になるよう、音量調節ツマミを調節します。
- [▲] または [▼] キーを短押しして、チャンネルをあわせてください。  
[▲] キーを押し続けるとアップ方向に早送ります。  
[▼] キーを押し続けるとダウン方向に早送ります。  
**補足** “CH01.” にあわせたり、「ボビビ」というピープ音が鳴ります。早送りの際は、ピープ音と同時に停止します。トランシーバーを腰につけていた状態で “CH01.” を確認することができます。

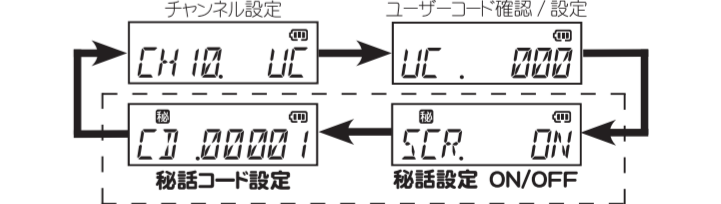


**補足** 上空波チャンネルで交信したい場合は、「上空波の送信切り替え設定：設定モード “F01.TXCH” を参照し、上空波 “SKY” に設定してください。

- 送信 (通話) します。  
PTT (通話) スイッチを押しながら、マイクに向かって話します。  
**補足** 送信中 “T” が点灯します。近距離で交信する場合は、「送信出力の設定」を参照し、送信出力を “MD” または “LOW” に切り替えることができます。
- 相手の音声を受信します。  
PTT (通話) スイッチを放すと、相手の話を聞くことができます。  
**補足** 信号を受信すると、LED インジケータが点滅し、電波の強さに応じて、ディスプレイの “T” が点灯します (最大 4 本)。
- 電源を切ります。  
電源スイッチを「カチッ」と音がするまで左にまわし切ると、電源が切れます。一週間に使用しない場合は、電池パックが消耗しないよう、トランシーバーの電源を切り、トランシーバーから電池パックを外してください。

## 秘話通信機能 (応用編)

- [MODE] キーを2回短押しして、“SCR.OFF” を表示させます。
- [▲] または [▼] キーを短押しすると、“SCR.OFF” が点滅します。
- [▲] または [▼] キーを短押しして “SCR.ON” にあわせてください。
- 点滅中に [MODE] キーを短押しするが、約5秒間放置すると、ディスプレイに “CD” が点灯し、秘話機能が設定されます。
- [MODE] キーを押して、“CD.00001” を表示させます。
- [▲] または [▼] キーを短押しすると、“CD.00001” の5桁目が点滅します。
- [▲] または [▼] キーを短押しして、00001 ~ 32767 から希望のコードに設定します (相手も同じコードに設定します)。  
[プログラマブル] キーを短押しするとこの桁が移動します。
- 点滅中に [MODE] キーを短押しするが、約5秒間放置すると秘話コードが確定しチャンネル表示に戻ります。または、点滅中に PTT (通話) スイッチを押すと秘話コードが確定し送信することができます。



- [MODE] キーを2回短押しして、“SCR.OFF” を表示させます。
- [▲] または [▼] キーを短押しして “SCR.ON” にあわせてください。
- 点滅中に [MODE] キーを短押しするが、約5秒間放置すると、ディスプレイに “CD” が点灯し、秘話機能が設定されます。
- [MODE] キーを押して、“CD.00001” を表示させます。
- [▲] または [▼] キーを短押しすると、“CD.00001” の5桁目が点滅します。
- [▲] または [▼] キーを短押しして、00001 ~ 32767 から希望のコードに設定します (相手も同じコードに設定します)。  
[プログラマブル] キーを短押しするとこの桁が移動します。
- 点滅中に [MODE] キーを短押しするが、約5秒間放置すると秘話コードが確定しチャンネル表示に戻ります。または、点滅中に PTT (通話) スイッチを押すと秘話コードが確定し送信することができます。

## キーロック機能

- 誤って各キーを押しても、設定が変わらないようにキーをロックします。
- [MODE / On] キーを長押しします。  
ディスプレイに “KEY LOCK” が表示され “On” が点灯し、キーがロックされます。
- 補足** キーロックが動作中に各キーを押すと、ピープ音が鳴ると同時に “KEY LOCK” が表示され、ロック中であることを知らせます。
- キーロック機能は “前面” の [▲] [▼] [MODE]、及びプログラマブルキーのスイッチに有効です。
  - キーロック動作中に有効なチャンネルやキー、ツマミは下記を参照してください。
  - 電源スイッチ / 音量調節ツマミ
  - PTT (通話) スイッチ
  - プログラマブルキー (緊急アラーム設定時のみ)

●ロックを解除するには  
ロックが動作中に [MODE / On] キーを長押しします。ロックが解除され、ディスプレイの “On” 表示が消えます。

